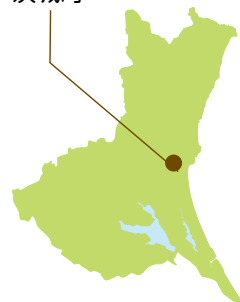


有限会社アクト農場

※2018年3月現在

代表者名	関 治男	資本金	21 百万円
設立年	2002 年 9 月 9 日	売上高	421 百万円 (2016 年 12 月期)
事業内容	生産 (小松菜、水菜、パクチー)	経営規模	畑 35ha、樹園地 1.6ha
従事者数	45 人 (うち女性 31 人。女性内訳：役員 1 人、一般職 4 人、常勤パート 26 人)		
女性活躍支援	[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援] 時間外労働及び深夜業の制限 [女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係 (休憩室・屋内・野外トイレ)、重労働等の業務改善		

茨城県東茨城郡
茨城町



経営概況

那珂川水系の汽水湖で、ラムサール条約湿地に登録される涸沼にほど近い有限会社アクト農場は、小松菜や水菜、パクチーなどの施設野菜を生産する農業法人である。創業は1977年、茨城県立農業大学校出身の代表・関治男氏と妻の美恵子氏、代表の父の3人で約50aの土地で肉用牛を生産していたが、時代の流れを見据えて1997年からハウレンソウなどの葉物生産に転換し、2002年に法人化した。生協や外食向けの卸会社、宅配事業者向けに販売し、顧客の要望に応える生産で成長を遂げている。現在は約35haまで圃場が拡大し、360棟のハウスを保有する。一昨

年にパイプハウス24棟を増設したことで売上が大幅に増加し、2016年度の経常利益は前年度に比べて4倍以上も伸びた。その土台を支えているのが、65歳以上の女性ベテランパートたち。会社の従業員43名のうち半数以上の30名が女性で、65歳以上のパートは25名と、シニアの女性たちが大活躍している。

1. 経営者の理念・意識改革

“農業の婆ちゃん、爺ちゃん達が健康で畑仕事ができるように、若者が夢を持って仕事に就けるように”と自社のWEBサイトに掲げている通り、同社の法人化の目的は、①農業の世代交代に伴う土地余りを吸収し、離農する高齢者の職場を確保すること、②若い人材が高齢者をサポートして地域に根付き、活躍の場を作ることである。収穫作業は40代～80代までの女性パートが担当し、そのほとんどが65歳以上だ。最年長の85歳の女性は肉牛から葉物に切り替えた当時の20年来のメンバーで、60代後半に農場でパートとして入った。この年代は外で収入を得ることが難しいが、同社では家庭をきりもりする役割が嫁へと変わる60代、70代の女性こそが安定して出



勤できる重要な働き手と考えている。「パートさんたちも農場の仕事が続けられることは毎日の生きる張り合いになっているようで、全員若々しく元気です」と美恵子氏は話す。

95歳まで現役でともに働いた義父の姿を見て、年を重ねても毎日仕事ができるのは生きがいになることを実感しているという。長年勤めてもらえることで安定した人材確保ができ、現在深刻な問題となっている高齢者の医療費削減にもつながっている。

さらには若い農業人の育成にも力を入れ、2018年には、大卒、高卒3名の新入社員を迎える。

2. 女性活躍推進の取り組み

女性正社員は新卒入社2名を含めた4名が所属する。男女という固定観念にとらわれず、その人の個性にあう適材適所の仕事を任せている。抜群の行動力の持ち主という一番若手の女性社員はトラクターなどの大型機械を乗りこなし、土づくりにも携わる。ITに強い女性社員は、ホームページの担当をまかせたことでページ更新が頻繁にできるようになり、これをきっかけに定期的な取引につながった。農産物の大規模展示商談会「アグリフードEXPO」などのイベントには、トレンドに敏感な女性社員が中心となって企画し、2017年度の出店ではパクチーアイスやパクチー入りの卵焼きといった若い女性を意識したメニュー提案が受け、月200万円以上の売上となる新規の取引を得ることができた。創業から代表とともに二人三脚で歩んできた美恵子氏はJAでの勤務経験を活かして経理を担当。月次決算の数値を見ながら経営に参画し、会社の成長に大きく貢献した。このようにそれぞれの得意分野が活かされ、ひとりひとりの女性が輝ける職場を目指している。

農業経営に関する研修会やセミナーの参加費を会社が負担するなど、社員のキャリア形成にも積極的に取り組んでいる。入社4年目の女性社員は

JGAP指導員の資格を取得し、彼女が中心となって農場のJGAP認証取得に向けて準備を行っている。

3. 女性が働きやすい環境の整備

収穫を担うパートの多くが近隣の農家から来ており、一年を通じて地域や親族の行事で忙しい。このため出勤日や休日の取り決めを行わず、前もって休みたい日を申告する自由出勤制にしている。無理のない出勤体制で長期勤務のパートが増え、20年継続で働く85歳のパートは若いパートたちの将来の目標となっている。長期勤務のパートが多いことで優秀な技術を持つ労働力が確保でき、一昨年にパイプハウスを増設した時も人員を増やすことなく経常利益が増加した。総勢30名の女性たちのまとめ役は、大企業出身の50代男性社員。巨大組織で働いた経験を活かし、トラブルを最小限に抑えて仕事ができる組織マネジメントに取り組み、女性スタッフからも厚く信頼されているという。

ほかにも作業前のラジオ体操のほか、高齢者が座って仕事ができる作業場の整備や、圃場ごとのトイレの設置など、女性が気持ちよく働ける配慮もなされている。

審査委員の声

パートタイマーは自由に出勤する曜日や時間を決められるように柔軟な勤務態勢を整えている。家事や介護などを担う女性のワークライフバランスを考慮してのことだという。これがパートの定着率向上につながり、同社の生産規模拡大を支えてきた。近年では、生産部門に配属された女性の正社員が男性社員に負けず劣らず活躍している。女性社員には本人の希望次第で、販促やJGAPの指導員としての業務を任せるなど、幅広い業務に携わることができるような支援を積極的に行っている。